

下を向いていたら
虹を見つけることは
出来ないよ
by チャップリン

S-mile 通信



令和 7 年 10 月 15 日発行 第 92 号

発行／理事長室 浜松市中央区大山町 2958 番地の 1

10月の新人研修

10月1日（水）から翌週6日（月）までの平日4日間、新人研修を開催しました。
今回は、介護と保育職員を合わせ、6名の方が参加されました。

部署や職種は様々ですが、皆さん揃って講義を受ける中で、慶成会職員としての一体感が生まれた研修でした。



「三毒の煩惱」を覚えていますか？

- 1、貧（とん）：むさぼりの感情
- 2、瞋（しん）：怒りの気持ち
- 3、痴（ち）：感謝の気持ちが少ない

“因果応報”という言葉があります。

良いことをしていれば良い結果が起きる、悪いことばかりしていると良くないことが起こる・・・

原因と結果は繋がっており、必ず自分に跳ね返ってきます。

相手を変えることはできないが、自分を変えることはできます。自分を変えることができるのは自分自身だけであり、自分が変わることで周囲も良い方向へ変わっていくことを実感できます。



デイサービス野の花
介護員 牧田未央さん



グリーンビル かがやき
介護員 植田真矢さん
（7月入職）



ケアレジデンス東山
介護員 モリハツミさん



きさらぎ デイサービス
運転手 荒川富治さん



キッズホームてんとうむし
保育士 遠藤知子さん
（8月入職）



てんとうむし東山保育園
保育士 大石真由さん



フォローアップ研修

9月9日（火）1年ぶりのフォローアップ研修を開催しました。今回は、それぞれ違う事業所で働く7名の方が参加されました。

冒頭クレドの唱和に始まり、理事長の講和とアメーバ経営、午後はアンガーマネジメントや正義の考え方について動画を視聴しながらワークを進めました。

～心の豊かさって何？～

心の豊かさとは、物質的な豊かさだけではなく、内面的な充実感や精神的な平穏を追及することです。

30年前と比べ、現在はデジタル中心の世の中になり生活も便利になりました。一方、人として相手を思いやる気持ちが変化し希薄になっていませんか。

仏教の教えには「利他の心」というものがあります。

自分のことよりも他人の幸福を願う心のことです。

反対に“自分だけが良ければいい”と考えるのは「利己の心」です。利己の心で判断すると自分のことしか考えず、誰の協力も得られなくなり必然と視野も狭くなります。

現在はスマホで簡単に情報の入手ができる時代ですが、その間には多くのやり取りと複数の人間がいます。

そのことを認識した上で、常に「利他の心」を念頭に置き、職員同士、またご利用者やご家族に関わる中で相手を思いやる気持ちを大切にしましょう。



苦情解決委員会

9月25日(木) R7 年度上半期の苦情解決委員会を開催し、第三者委員の斯波様、榛葉様を交え、参加者の皆様と共に苦情の内容を共有しました。

年々苦情の内容は複雑化しており、その対応方法について職員は様々な法制度を学びスキルを身に着けることが求められます。今回は発表いただいた3つの事例を掘り下げることで、問題の捉え方について多くの気づきがありました。斯波様、榛葉様からは幅広い視点を持つことの大切さについて、具体例を交えアドバイスをいただきました。



● 障害の世界では「医学モデル」と「社会モデル」という考え方があります。

「医学モデル」は、障害のある人が日常生活で制限を受ける原因を個人に求める考え方。対して「社会モデル」は障害による制限は個人の問題だけではなく、社会の障壁により生じるという考え方です。

介護や保育でもできないことを個人の問題と捉えるのではなく、社会が環境に配慮する責務があります。

● 我々が当たり前に考える“介護・保育の標準”は、世間において通用しにくいことが多いと実感します。

そこを踏まえて対象者とどう向き合うのか、スムーズに伝える方法は何かを考える必要があります。

● “仕事”をどう受け止めるかが大事です。時には遊び心を持ち、「どうしたら面白くできるか」「何を行えばワクワクするか」という柔らかな発想で楽しく取り組む姿勢が大事です。

● 「謝罪」と「お詫び」ではニュアンスが異なります。こちらの落ち度があれば謝罪ですが、相手の不満に言及し謝るのであればお詫びであり、必ずしも自分達の過ちを認めることではありません。

R6年PETボトルキャップ回収

慶成会では5年前から、「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを 日本委員会」の支援活動を応援し、ペットボトルキャップ回収の取り組みを行っています。

前年度 R6 年分として収めた寄付証明書をご案内します。

回収を始めた初年度は合計 100 kgの実績でしたが、その後毎年回収量が増え続け、昨年度は合計 210 kg、52 人分相当のポリオワクチンを世界の子供たちに届けることができました。これもひとえに活動に理解をいただく法人職員、また地域の皆様の温かいご協力のおかげです。

今年度も引き続き、回収活動の普及に向け取り組みを進めています。前年を上回る回収量を目指し、少しでも多くの子供たちにワクチンを届けたいと思いますので、皆様のご協力を宜しくお願い申し上げます。

慶成会では5年前から、「認定NPO法人 世界の子

JCV ペットボトルキャップ 寄付証明書

社会福祉法人慶成会 様

静岡県浜松市西区大山町 2958-1

受領日	重量	寄付金額	ポリオワクチンで
2025/5/28	210.0 kg	1,050 円	52.5 人分

『ヤギ』ふれあい会の様子

7月20日(日) 地域包括支援センター和地の玄関前で、地域の方を対象にヤギのふれあい会を行いました。初めての企画でしたが、子供と大人を合わせ9名の参加がありました。

最初、子供たちは目の前で見るヤギにおっかなびっくりの様子でしたが、おとなしい動物だと分かったと子ヤギを抱っこしたり、散歩に連れて歩くなど大はしゃぎでした。またヤギに食べ物を与えると、ムシャムシャ食べながら人懐っこく子供たちの所へ擦り寄ってきました。今後



も、できるだけ多くの子供たちにヤギとのふれあいを楽しんでもらいたいと思います。

次回2回目を10月25日(土) 10時~11時に同場所で開催します。

皆さんの知人で慶成会の近隣に住むお子さんが見えたら、是非お声掛けください。

これからも可愛いヤギをよろしくお願いします。

